

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:令和7年12月25日

事業所名: 発達支援センター巣立ち
(児童発達支援)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	80	20	0		100	0	0	0	集団で使用する部屋は広く、開放感もあり、とても良いと思う。	手狭な場合もあるため、利用人数を調整しながら対応している。
	2 職員の適切な配置	100	0	0		96	0	0	4		必要に応じて、補助職員を入れ、対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	20	80	0		93	4	0	3	とても分かりやすく、迷いにくいようになっていると感じる。	器具等で手狭になっているが、その中で安全面や使いやすさに配慮した施設にしてきた。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	40	60	0	雨漏りやエアコンの不調があるため、快適とは言い難い。	100	0	0	0	清潔で心地よく活動できていると思う。	電気機器等の不具合が多く、その都度対処してきたが、根本的な解決にはなっておらず、要望している。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100	0	0							毎朝、療育内容を確認し、その日のうちに振り返りを行うようにしている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	40	20	40							第三者による外部評価は未実施である。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100	0	0							月1回のオンライン研修、療育相談の講師による研修を実施している。
適切な 支援	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	100	0	0		96	0	0	4		昨年度作成し、市のホームページに公開している。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0	保護者や相談支援事業所との話し合いを行い、計画を作成している。	100	0	0	0		面接時間を確保し、保護者からの聞き取りを通して支援計画を作成している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
支援の提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	100	0	0		96	0	0	4		保護者からの聞き取り等を通じて、具体的な内容の記載に努めている。
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0							保護者に個別療育、集団療育の必要性を伝え、個に応じた指導になるよう努めている。
適切な支援の提供（続き）	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100	0	0		100	0	0	0	その時その時で目標を変えたり、計画に沿った支援をしてくれている。	支援計画等を職員間で共有し、計画に沿った支援を心掛けている。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	100	0	0							毎朝、職員間で確認し、改善しながら立案している。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100	0	0		86	7	0	7	季節に合わせたプログラムや、クリアできたら次のステップに進むなど、色々工夫されていて新鮮である。	子どもの意欲を大切にしながら、成長や実態に応じ、季節感等も考慮したプログラムを組み立ててきた。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	20	80	0							巣立ちの療育は平日のみの実施。
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100	0	0							毎朝、支援内容や役割分担等について全職員で確認し、共通理解を図っている。
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100	0	0							支援終了後、振り返りや情報の共有化を行い、以後の療育に生かせるようにしている。
11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100	0	0							当日の活動の様子等を詳細に記録し、保護者の確認を得て、次回の活動に生かしている。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	100	0	0		100	0	0	0	支援の内容等丁寧に説明してくれるため、安心している。	利用開始前の話合いの際に、丁寧な説明に努めている。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	100	0	0		100	0	0	0	毎回とても丁寧に説明してくれている。	保護者と共通理解を図りながら丁寧な説明を心掛けている。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	60	40	0	親子通園のため、その場で必要なことをお伝えしている。	79	11	4	6		市の教育支援室と連携しながら保護者との座談会を実施している。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100	0	0		100	0	0	0	・とても細かく伝えてくれている。 ・発達のことや本人の頑張りを認めてくれて嬉しく思う。	個別支援計画作成時やモニタリング、日ごろの会話の中で積極的に共通理解を図ってきた。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100	0	0		100	0	0	0	・よく気にかけてくれており、優しく話をしてくれている。 ・どんなことでも共感してくれて話しやすい。 ・気になることや不安に対してアドバイスをしてくれるため助かっている。 ・先生と話す時間がもう少しあると嬉しい。	できるだけ相談時間を確保し、親身な対応に努めていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	60	40	父母の会はなくなったが、メンターさんの会とは連携している。	54	14	0	32		保護者会はないが、教育支援室と連携を取り、ペアレント・メンターとの座談会を開催している。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		68	7	0	25		迅速に、誠意ある対応に心掛けてきた。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0		100	0	0	0	とても配慮してくれていると感じる。	個々の特性に応じた方法で伝えるよう心掛けてきた。研修等を通じて、職員の資質向上を目指す。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	40	20	40	個人情報もあるため会報はない	50	10	4	36	毎月、行事予定を発行している。その他、活動室や廊下の掲示物で情報提供している。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	80	20	0	名札や顔写真、靴箱等活動上必要なものへの配慮はできる範囲で取扱いに注意している	89	7	0	4	個人情報の取り扱いについては、職員間で確認しながら注意してきた。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	100	0	0		57	18	0	25	今年新たに、感染症対応マニュアルを作成した。保護者への周知について検討していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	100	0	0		50	14	0	36	その時の利用者の協力で、保健センター内の避難訓練や県主催の原子力防災訓練、津波避難訓練に参加している。
	3	服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	100	0	0	保護者から直接聞き取り、確認している。					保護者との面談を通して実態把握に努め、個々に応じた対応をしている。
	4	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	60	40	0						保護者との面談を通して実態把握に努めている。現在、本施設での食事提供はない。
	5	安全管理の徹底	100	0	0						安全計画を策定しており、それに従った取り組みをしている。
	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	100	0	0						本施設利用の際に説明しているが、さらに機会をとらえ、継続した周知について検討する。
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100	0	0						事例がある場合、ヒヤリハットに記録を累積し共通理解のもと対応している。

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ		わからない
8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100	0	0						虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。日々、職員間で情報交換するようにしている。
9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	100	0	0						身体拘束適正化委員会を設置し、職員研修を実施している。現在、具体的な事例はない。